

オンライン開催
受講無料

受講者募集

令和4年度

外国人介護従事者指導担当職員向け研修

～事例から学ぶ外国人介護職員との働き方～



パソコン等でいつでも講義を視聴できます！

配信期間：11月9日（水）～12月23日（金）（予定）

※ライブ講義：①12月14日(水)午後 ②12月22日(木)午前

対象者：都内介護サービス事業者

申込期限：12月16日（金）※ライブ講義希望の方は11月30日（水）まで

言語や文化等が異なる外国人介護職員と一緒に働くために、何が必要なのでしょう。

本研修では、受入れ制度だけでなく、外国人介護職員とのコミュニケーション、指導・育成、生活支援などにおいて配慮が必要な点など、指導担当職員に必要な視点、知識・ノウハウについて、具体例を交えながらお伝えします。

※本研修の修了が、東京都の「介護施設等による留学生受入れ支援事業補助金」の交付要件となります。

講義内容

期間中いつでも、複数回に分けて受講可能

【動画配信】

①「外国人介護従事者受入れの制度・法令関係」(約40分)

講師：第一東京弁護士会 弁護士 田島潤一郎(安西法律事務所)

②「多文化理解の促進、日本語指導のポイント」(約40分)

講師：新宿日本語学校 校長 江副隆秀

③「外国人介護従事者受入れの体制づくり」(約40分)

講師：群馬医療福祉大学短期大学部 教授 白井幸久

④「介護業務に関する指導・教育」(約40分)

講師：群馬医療福祉大学短期大学部 教授 白井幸久

⑤「日本での生活に対する支援」(約40分)

講師：東京都介護福祉士会 会長 日本社会事業大学 准教授 永嶋昌樹

⑥「外国人介護従事者受入れの事例」(約15分×2事例+職員インタビュー約30分)

事例①：社会福祉法人北野会 特別養護老人ホームマイライフ徳丸

事例②：社会福祉法人福信会 特別養護老人ホーム麦久保園

事例③：有限会社アウトソー 小規模多機能型居宅介護じゃすみん花畑(職員インタビューのみ)

※事例紹介の内容は、外国人介護従事者受入れセミナーと異なります。

※一部の講義のみ受講することも可能ですが、修了証書の発行は全科目の動画の視聴が要件となります。
※講義の具体的な内容は、当財団ホームページに掲載しています。

【ライブ講義】テーマ：外国人介護従事者への配慮・支援

※希望者のみ

実施日：①12月14日(水)午後 ②12月22日(木)午前(約60分)

講師：東京都介護福祉士会 会長

日本社会事業大学 准教授 永嶋昌樹

※具体的な事例に基づきグループディスカッションを実施

※日程はいずれか1日を選択 ※定員各回25名 ※web会議システム「ZOOM」を使用

同じ疑問・課題を持つ
方々と意見交換をして
みませんか？

昨年度の研修受講者の声

インタビューは特によかった。施設職員、外国人
両方の話を聞くことが出来て参考になった。

研修前は不安が大きかったが、仕組みづくりや
関わり方や実際の声を聴き、前向きになれた。

※昨年度の研修で使用した受入れ事例の動画を当財団ホームページからご覧いただけます。

申込方法等

申込み方法、受講方法は、東京都福祉保健財団ホームページをご覧ください。

【お問い合わせ先】

(公財)東京都福祉保健財団人材養成部外国人介護人材担当 TEL 03-3344-8627

ホームページ：

URL: <https://www.fukushizaidan.jp/122gaikokujin/>

